【参考】

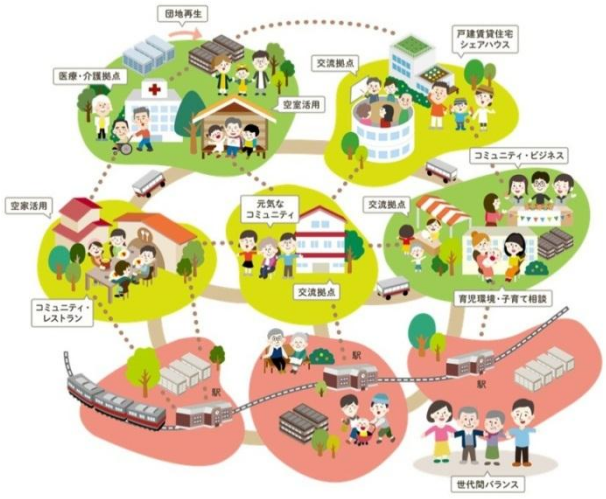
次世代郊外まちづくりについて

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法で進めるプロジェクトです。2012 年 4 月、横浜市と東急電鉄が「次世代郊外まちづくり」の取り組みを公民共同で推進することに合意し、包括協定を締結。2017 年 4 月には協定を更新し、共同での取り組みを引き続き進めると共に、「次世代郊外まちづくり」の成果を、地域の特徴にあわせて、東急田園都市線沿線のその他の地域へ展開していきます。

■次世代郊外まちづくり URL http://jisedaikogai.jp/

既存のまちが創りかえられ、良好な住環境とコミュニティの持続と再生が実現した郊外住宅地の将来像を、「ＷＩＳＥ　ＣＩＴＹ（ワイズシティ）」と名付け、「次世代郊外まちづくり」が目指すまちの将来像として掲げています。「ＷＩＳＥ　ＣＩＴＹ」とは、Ｗｅｌｌｎｅｓｓ・Ｗａｌｋａｂｌｅ&Ｗｏｒｋｉｎｇ、Ｉｎｔｅｌｌｉｇｅｎｃｅ&ＩＣＴ、Ｓｍａｒｔ・Ｓｕｓｔａｉｎａｂｌｅ &Ｓａｆｅｔｙ、Ｅｃｏｌｏｇｙ・Ｅｎｅｒｇｙ&Ｅｃｏｎｏｍｙの頭文字をとった造語です。ＷＩＳＥという言葉には 「賢い、懸命な」という意味もあり、ＷＩＳＥ「賢いまちづくり」を目指す、という思いも込められています。

また、「Ｗｉｓｅ　Ｃｉｔｙ」を具現化するため、「コミュニティ・リビング」の実現に向けた取り組みを進めています。「コミュニティ・リビング」とは、歩いて暮らせる適度な生活圏ごとに買い物、福祉、医療、子育て、コミュニティ活動など、地域に必要な機能を空家や空き地、土地利用転換の機会などを活用して適切に配置し、それらを密接に結合させていく考え方です。



以　上